

別紙

令和８年度東近江市民間提案制度 テーマ一覧

No	内 容	担当課
1	テーマ：新たな歳入確保策の創出 【現状と課題】 各事業において国からの補助金等を活用するなど財源確保に努めているが、より多くの歳入を確保する必要がある。 【求める提案】 <u>市保有の資産を活用し、新たな歳入確保策となる提案を求める。</u>	政策推進課
2	テーマ：公共遊休不動産の有効活用 【現状と課題】 市が保有する次の遊休不動産について、地域活性化に資する有効活用を図る必要がある。 五個荘竜田町 47-1（国道８号沿い市有地） 【求める提案】 <u>市が保有する上記の土地に関して利活用を行う提案を求める。</u>	政策推進課
3	テーマ：近江鉄道八日市駅待合所における空きスペースの有効活用 【現状と課題】 近江鉄道八日市駅は、通勤通学者のほかビジネス客の拠点として多くの人が利用するターミナル駅であるため、更なる充実を図る必要がある。 【求める提案】 <u>八日市駅待合所における空きスペースを活用し、利便性の向上やにぎわいの創出につながる方策についての提案を求める。</u>	政策推進課 公共交通政策課 観光物産課

No	内 容	担当課
4	テーマ：森里川湖のつながりを生かした地域資源の活用及び魅力発信 【現状と課題】 本市は、鈴鹿山脈から琵琶湖へと至る愛知川流域の豊かな自然環境を有し、その「森里川湖のつながり」の中で多様な歴史文化が育まれてきた。本市では専門家等と連携しながら、その調査研究を進めており、令和7年度に「森の文化推進条例」を制定した。 森里川湖のつながりの価値やその取組についての認知を拡大し、森の文化推進条例の取組推進のための機運醸成を図る必要がある。 【求める提案】 森里川湖のつながりがもたらす価値や魅力を分かりやすく発信し、その価値を広く共有する提案を求める。	森の文化推進課
5	テーマ：電話端末運用の効率化 【現状と課題】 本市では、多数の固定電話を配置し、オンプレミス型P B X（電話交換機）を通じた運用を行っている。現在の環境では、配線が複雑化し、人事異動等の組織改編への対応にスピード感を持った対応が難しくなっている。また、P B Xの更新に当たっては多額の費用を要し、更新年度にかかる財政負担が大きくなっている。 【求める提案】 電話端末等にかかる財政負担の軽減を図りながら、その運用の効率化につながる提案を求める。	管財課
6	テーマ：家庭ごみの減量と市民の利便性向上 【現状と課題】 循環型社会の構築に向け、ごみ総量削減や再資源化の推進が必要である。また、リチウムイオン電池等の通常のごみ収集には出せない危険物回収の利便性が求められている。 【求める提案】 ごみ総量削減と効率的な資源循環を達成するとともに、市民の利便性向上を実現する提案を求める。	資源再生推進課

No	内 容	担当課
7	テーマ：公園施設管理の事務負担とコスト縮減 【現状と課題】 現在、都市公園においては指定管理者制度による管理運営を行っている。しかし、高木の伐採や遊具の点検・修繕等については、指定管理者制度の業務範囲外であることから、市直営での実施又は適宜委託に出している状況にある。これにより市の現場担当者は、現場確認や発注、契約等の作業に多くの時間を割いている。 【求める提案】 <u>こうした指定管理者制度の業務範囲外である業務内容について、その効率化を図ることのできる方策について提案を求める。</u>	都市計画課
8	テーマ：公共施設における照明のLED化 【現状と課題】 本市の公共施設においては、依然として蛍光灯が設置されている施設が複数存在し、令和10年1月1日までに全ての種類の蛍光ランプの製造が禁止されることにより、公共施設におけるサービス提供のためには早急な更新が必要となる。 しかしながら、これまでの公共工事による従来の発注方法では、複数施設に存在する蛍光灯を交換するには、多額の費用及び長い期間がかかることが想定される。 【求める提案】 <u>以下の施設において、財政負担の軽減を図りながら短期でのLED化を行える手法についての提案を求める（①～③を併せての提案も可）。</u> ①支所等 ②公園 ③教育施設	管財課 都市計画課 教育総務課

No	内 容	担当課
9	テーマ：介護予防のための高齢者外出機会の創出 【現状と課題】 高齢者の外出は、社会参加による孤立防止や健康増進等、心身ともに様々な効果をもたらし、介護予防の観点から見てもその促進を図る必要がある。 しかしながら、身体的な変化や環境の不便さ等の問題から高齢者の外出機会が減少していることに加え、外出しないことで高齢者の孤立化が進み、更に外出意欲を失うという負のスパイラルを引き起こしかねない。 そうした事態を防ぐために、高齢者の外出機会の創出を図る必要がある。 【求める提案】 <u>自宅に閉じこもりがちな高齢者が気軽に外出できるような機会の創出についての提案を求める。</u>	福祉政策課
10	テーマ：単身高齢者の『もしも』に備えるトータルサポート 【現状と課題】 核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化に伴う、頼れる身寄りがない独居世帯が増加している。これにより、身元保証人がいないことで病院への入院や介護施設への入所が出来ない高齢者が増えており、市へ相談に来られるケースが多々あるが、こうした悩みに対応する術がない。また、そういった方が死亡された際には、行政が火葬等の手続、賃貸物件において孤独死された際の現状回復などの処理を公費負担により対応している状況である。 【求める提案】 <u>単身高齢者の生前・入院・死後等への備えを促進する方策についての提案を求める。</u>	福祉政策課